



めのおはなし



10月10日の「目の愛護デー」に向けて、 幼児組を対象に目にまつわるお話をしまし た。目の役割として、まつ毛の働きや白目 (結膜)、黒目(角膜)、瞳(瞳孔)の説明を すると、子ども達は真剣に聞いていました。 視る力は視力といって、視力が悪くなると、 お友だちの顔が見えにくくなったり、字が 読みづらくなったりします。それを防ぐ為 に、暗い所で本を読まない、スマートフォン を長く見ない、痒い時などに目を強くこす らない等、子ども達に目を大切にする方法 を伝えました。子ども自身が自分の体のこ とを知って、大切にする気持ちを持っても らうことを目的にお話をしています。







けんだよ

第 428 号 令和 5 年 10 月 1 日 光明第三こども園

「10」を横にすると、まゆと目に見えるので 10 月 10 日は「目の愛護デー」 子どもの目を守るためには、感染症やケガだけでなく、「見え方の異常」にも注意が 必要です。この機会に異常のサインを知りましょう。

小さな子どもは 「 見る力 』も育ち盛り

赤ちゃんの目は生後すぐはぼんやりとしか見えていませんが、その後、1歳までの時期は 急速に「見る力」が発達します。3歳までには多くの子どもが大人と同じ程度(視力1.0)ま で見えるようになります。見る力(視覚)はゆるやかに発達し、6歳ごろには大人と同じ程度 になります。











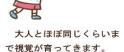


速に発達します。



のを見る力など、視覚が急







ほとんどの子どもが、大 人と同じ視覚を身につけま

早く治療するほど回復しやすい!

こんなサインに注意

明るい、暗い程度しか認



識できません。





見る力は、目から情報を取り入れ、 脳で処理することを、毎日繰り返して 育ちます。ところが、目に異常がある と脳に情報が届かず、見る力が育ちま せん。早く治療を始めるほど回復しや すいため、見え方の異常に気づいたら、 早めに眼科で相談しましょう。







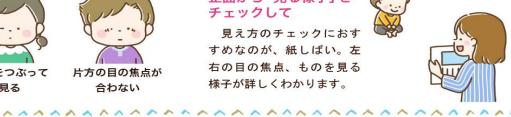
合わない

見え方のチェックにおす すめなのが、紙しばい。左 右の目の焦点、ものを見る 様子が詳しくわかります。

正面から「見る様子」を

チェックして





知っておきたい目のトラブル

目はとてもデリケート。何気なく触った だけでも、細菌やウイルスが侵入するおそ れがあります。目の異常に気づいたら早め に病院に受診しましょう。

~こんなときは要注意!~

流行性角結膜炎(はやり目)

ウイルスが結膜に感染し、炎症を起こしま す。目やにが増えたり、白目が充血したりす るほか、黒目に白い膜ができることがあり ます。感染力が強く、うつりやすいため、「は やり目」とも呼ばれます。タオルや寝具を介 してうつることがあるので共有は避け、枕 カバーやシーツをこまめに交換しましょ う。ウイルスのついた手で目を触ると感染 するので、手を洗うことも大切です。

診断された場合は出席停止となります。登 園の際は医師記入の書類が必要となりま す。

麦粒腫(ものもらい)

まぶたに細菌が感染して、目の縁やまぶた が赤く腫れます。目がゴロゴロしたり痛み が出たりしますが、子どもはうまく言えま せん。まぶたが腫れている時や目をしきり に触るときは受診をしましょう。他の人に うつることはなく、薬を正しく使えば治り ます。





